

## 日本版敗血症診療ガイドライン 2020 における『CQ12-7-1 敗血症患者に対する急性期ビタミン C 投与』に関する推奨変更について

一般社団法人 日本内科学会  
南学 正臣 理事長 御侍史

平素より日本集中治療医学会、日本救急医学会合同作成の日本版敗血症診療ガイドライン 2020 (J-SSCG2020) にご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、J-SSCG2020 特別委員会は、ガイドライン作成時のエビデンスに基づき、敗血症患者に対して急性期にビタミン C の投与を行うことを弱く推奨しました (CQ12-7-1)。

しかし、2022 年6月に大規模多施設ランダム化比較試験 (RCT) が発表され、ビタミン C の投与が有害である可能性が報告されました。この結果を受け、本委員会は追加のシステマティックレビューを行い、新たに 12 の RCT を追加し、計 23 RCT のメタアナリシスを基に再検討を行いました。

その結果、これまでの「弱い推奨」から、「敗血症患者にビタミン C の投与を行わないことを弱く推奨する (Grade2D: エビデンスの確実性＝「非常に低」)」と「弱い非推奨」に変更しました。

この推奨の変更については、日本集中治療医学会雑誌、日本救急医学会雑誌にレターとして掲載しています (2022 年 10 月 4 日公開)。以下のリンクより内容の詳細についてご覧いただけます。本件について、貴学会の会員の先生方にもご周知いただき、敗血症診療の一助としていただければ幸いと存じます。

今後ともご支援宜しくお願い申し上げます。

日本集中治療医学会雑誌 [リンク](#)

日本救急医学会雑誌 [リンク](#)

日本版敗血症診療ガイドライン 2020 特別委員会  
委員長 江木盛時 (日本集中治療医学会)、小倉裕司 (日本救急医学会)  
理事 西田修 (日本集中治療医学会)、久志本成樹 (日本救急医学会)